

8年目を迎える、sonorium 共催シリーズ 2017『映像と音楽』

『演奏と映像のコラボレーション』。演奏表現とヴィジュアル表現が重なることでイメージは大きな拡がりを見せます。

オペラの情景を思わせるPHOTOと歌詞を背景に演奏されるアリア。

作曲家の生立ちを想わせる絵画や肖像を背景としたピアノソロ。

現代音楽の曲想や調性から連想された映像作家の動画やプロジェクションマッピングによるインスタレーション。

室内楽曲の作曲年代の歴史的報道写真。

無声映画上映とピアノのインプロヴィゼーション。

sonoriumは、やがて訪れて盛んになる『映像と音楽』コンサートを見据え、建築デザインの段階から、

スクリーンではなく、ステージ後方の6mの白壁に映像を投影できる

また、同時に最上質の音響とベストコンディションの常設ピアノを備えた贅沢な空間として誕生し

2010年から、公演に補助金を提供する共催シリーズ『映像と音楽』をスタート。

新しいコンサートのプレゼンテーションとして各年4-6企画、100回に及ぶ素晴らしい公演を実現してきました。

2018年は多数の企画応募から審査を経て、過去シリーズにも増して、活躍中の演奏家、注目の映像作家を迎えてオリジナリティと音楽性に溢れる4企画が開催されます。



毎年3月1日～9月30日に翌年度2月～7月に開催する企画を募集。(審査基準と共催補助金については、別紙、募集要項をご参照ください)。各公演の詳細、チケット問合せ等は

sonorium ホームページ内 Concert Calendar に掲載いたします。<http://www.sonorium.jp/concert/>

	日程	コンサートタイトル／公演内容
2017 No.1	2/26(土) 3回公演 12:00 (子供のためのミニ公演) ¥500(子供) ¥1,000(親子ペア) 15:00 ¥2,000 19:00 ¥2,000	<p>音楽の展覧会：森をめぐるって</p> <p><公演コンセプト> 美術の展覧会のように自由に立ち寄れる空間で、気軽に映像と現代音楽作品を体験できる場をつくるという発想から生まれました。本プロジェクトでは、向井（映像空間演出）と、伊藤（作曲）の共創 / 協奏を中心に、映像絵画展とミニコンサートを融合させ、sonorium ホールのシンプルで美しい建築空間全体の場を総合演出する公演を行います。 日本古来からの自然信仰がある具体的な森にインスパイアされたものから心象風景としての森まで、絵の具の感触が残る「森」の絵画タブローのカラーージュに囲まれながら、「森」の揺れ、呼吸のような音に耳を傾けるように、立体感のある総合的鑑賞空間を演出します。 映像空間演出と、収録済み楽曲・ライブ音源、ソロ・アンサンブルの演奏、ヴォイス（合唱）等の各組み合わせから丁寧に多彩性を引き出します。専門的に高度な表現内容も、映像と音楽が複合的かつ相乗的に高め合い、広く一般芸術愛好家に親しみやすい鑑賞空間を演出します。最新技術を複合的に組み合わせつつ、人の手による「手触りの感触が残る」ような質の高い鑑賞空間を提供します。</p> <p><出演者／プログラム> 作曲 伊藤弘之 http://composerworklist.wixsite.com/composerworklist/hiroyuki-itoh 映像・演出 向井知子 http://design.art.nihon-u.ac.jp/laboratory/teacher/tomoko-mukai 指揮 西川竜太/F1. 多久潤一郎/Cl. 鈴木生子/Vn. 佐藤まどか/Vc. 多井智紀/Pf. 及川夕美</p> <ol style="list-style-type: none"> 『 迷宮の森』 録音済み音源と映像。 『 In the Dim Light 』 ライブ演奏と映像。 『 揺らぐ風を織る』 録音済み音源と映像。 『 響きの森へ - ピアノソロと映像。』 公開トーク 向井知子／伊藤弘之／ゲスト 白石美雪(音楽学者、武蔵野美術大学教授) 野口玲一 (三菱一号館美術館 学芸グループ長) <p><映像> 完全デジタル制作の映像に、最新のマッピング技術を投影に使用。プロジェクター3台～4台を使用。 非対称で直線的な内部空間のダイナミズムを生かし、幾何構成的な投影面を配置。 4方向（もしくは3方向）への映像投影が、まるで森の絵画タブローのカラーージュに囲まれているような立体感のある演出。</p> <p>*チケットお問合せ オンライン決済 Peatix: http://ptix.co/2hDMNem チケット・メール予約 ongakuten2017@gmail.com チケット・電話予約 080-3535-5566</p>

2017
No.2

5/7(日)
1回公演

13:30
¥3,500

音楽の旅 Vol.4 ショパンとドビュッシー ～所縁の地を巡って～

<公演コンセプト>

作曲家や作品に関連する画像を投影しつつ、わかりやすい解説を交えて行うコンサート企画「音楽の旅」シリーズ第4弾。
今回は sonorium 共催シリーズ 2017『映像と音楽』に参加して、
ショパンとドビュッシーについて、その生涯や作品の背景についての説明を加え、所縁の映像と共にピアノソロ演奏を行います。
ショパンが作家 G.サンドとスペイン・マヨルカ島で過ごした時に完成された『24の前奏曲』、
多くの詩人たちから影響を受けたドビュッシーが、ピアノ曲において自らの音楽技法を確立した時期の作品である『版画』を中心に取り上げ
特に、ショパンとサンド、ドビュッシーとマラルメ、ヴェルレーヌら詩人たちとの関わりなど
両者が強い影響を受けた作家や文学作品に関するエピソードを解説として演奏前に紹介し
実際に彼らが滞在した場所（フランス：パリ、ノアン、スペイン：マヨルカ島、など）や
関連する画像を投影しつつ演奏することで、音楽に彩を添え、聴衆の皆さまに演奏と映像のコラボレーションを
十分に、気軽に楽しんでいただけるよう演出します。

<出演者／プログラム>

Pf.:岡本祥子

～～東京藝術大学器楽科(ピアノ専攻)、エコールノルマル音楽院等でピアノを学ぶ。

在学中、モロッコで行われた青年国際音楽コンクール第2位、及び現代音楽賞、フランス音楽コンクール1等賞受賞。他、受賞歴多数。～～
解説・映像：岡本尚子

～～慶應義塾大学文学部卒業。東京外国語大学地域文化研究科博士前期課程修了。

Université François Rabelais de Tours(フランス)博士課程修了。

現在、洗足学園音楽大学、実践女子大学、国際基督教大学高等学校フランス語講師、人間文化研究機構・国立民族学博物館・外来研究員。～～

● ショパン：24の前奏曲 Op.28

● ドビュッシー：版画

<他>

<映像>

ショパンとドビュッシー所縁の画像（フランス各地及び、スペイン・マヨルカ島、影響を受けた作家に関連する画像等）を解説・演奏と共に投影して
美しい映像をご覧頂きながらショパンやドビュッシーの辿った「音楽の旅」を体験していただきます。

*チケットお問合せ

Les étoiles(レ・ゼトワール)事務局 電話 090(9061)0698 ✉ info.lesetoiles@gmail.com

2017
NO.3

5/20(土)
1 回公演

17:00
¥3,000

パリ 1920 年代、エコール・ド・パリと漂流の芸術 ～映像とかたりに綴るコンサート～

<公演コンセプト>

1920 年代の音楽はこれまでにぎやかな「狂乱の時代」として紹介されることが多かった。しかしサティやストラヴィンスキーは第一次大戦という大きな変動期にそれまでになかった芸術の形、概念を作った。それは音楽を取り巻く他分野の大きな枠組みの結合がなければ不可能であったろう。映像という媒介によって音楽そのものが変化をとげていくありようを示してみたいと思う。各曲の演奏前に、1920 年代という特異な DECADE を解説する「かたり」があり、当時のパリへのご案内します。

1920 年代のパリは祝祭であった。作家ヘミングウェイが愛したこの芸術都市には第一次世界大戦前後から多くの外国人が集まった。エコール・ド・パリと呼ばれる画家たちには多彩な傾向があるが、今夜は「漂流のアーティスト」として、ストラヴィンスキーとシャガールの望郷の念を皮切りに、サティの前衛性に寄り集まったピカソとピカビアの思惑、「愛と流浪」の詩人アポリネールとプーランクの友情、最後にナチス・ドイツによって文字通り抹殺された音楽などを紹介する。ミヨーは1920年代をしめくくる時代の寵児としてバレエ曲に活躍した。文芸や音楽、舞踊など多彩な舞台において集合された多くの異なる文化、それらが現代アートの「芽」を作り、パリを魅力的なコスモポリタンの街としていくことになる。（「かたり」より）

<出演者／プログラム>

企画・解説・Pf 鶴園紫磯子 <http://www.jppta.jp/even#2F2A881>
映像 加藤牧菜 <http://office-makina.co#2F2A9DA>
Pf. 河村晋吾 <http://shingokawamura.e-monsite.com/> Sop. 駒井ゆり子 <http://komaiyuriko.com/index.html>

- 1 ストラヴィンスキー 5つのやさしい小品（連弾）
- 2 サティ 3つの歌曲 1916（シャンソン「おまえがほしい」／スポーツと気晴らし）
- 3 プーランク 無窮動／アポリネール詩による2つの歌曲／モンパルナス、ハイドパーク
- 4 シュルホフ ジャズ舞踊組曲
- 5 ミヨー バレエ曲 世界の創造（4手連弾版）

<映像構成>

1910年代からわきおこった前衛的な芸術、とりわけ美術のクリエイターを中心に紹介する。ピカソ、シャガール、モジリアニなど「エコール・ド・パリ」の活動は異邦人としてパリでその存在を証明した「漂流の芸術」である。また1920年代の創造的な舞踊をリードした「スウェーデン・バレエ」の舞台などはダダイズムやシュールレアリスムなどの影響を受けて、1950年代へとつながっていくコンセプトを表現していた。音楽と美術、舞踊などが一体となった活発な芸術創造のありかたを示していきたい。演奏する曲目や作曲者にもそれらは深く関わっている。

*チケットお問合せ

20世紀のフランス音楽 TEL 03-5932-2800 ✉ moritashi@jcom.home.ne.jp

2017
NO.4

7/1(土)
1回公演

8link Journey

<公演コンセプト>

19:00

¥3,500

サククス、パーカッション、作曲&ピアノの3人でジャンルを超えた音楽に挑むユニット「8link」が初の映像とのコラボレーション。映像ディレクションには、文化庁メディア芸術祭エンターテインメント部門で大賞を受賞した岸野雄一氏を迎える。ourney というテーマで、映像チームと音楽チームが緻密に作戦をたてこの企画のための作品を作ります。

<出演者/プログラム>

作曲・Pf. 鳥羽山沙紀

映像ディレクション 岸野優一

Sx. 山崎憂佳

Drum& Perc. 野崎めぐみ

1 あなたの待つ駅へ

2 すれ違い

< 他 >

<映像>

現実の旅と比べて、音楽や映像を使った「旅」の表現は、一瞬にして空間も時間も超えるダイナミズムがあります。故にその快樂を使ってしまうがちですが、今回のプログラムでは、敢えて旅の停滞感や遅延の感覚も交え、より大きなダイナミズムを表現したいと考えています。

チケットお申込み

✉ 8link.mail@gmail.com